

長野地区社保協 (社会保障推進協議会) ニュース



長野地区社保協は、社会保障についての相談窓口です。

社会保障制度の改善をめざして、労働組合、医療、福祉関連の諸団体、

市民団体、女性団体などが共同して運動をすすめる組織です。(活動地域：長野市、上水内郡)

長野地区社保協・活動報告

「補聴器購入に公的補助を」

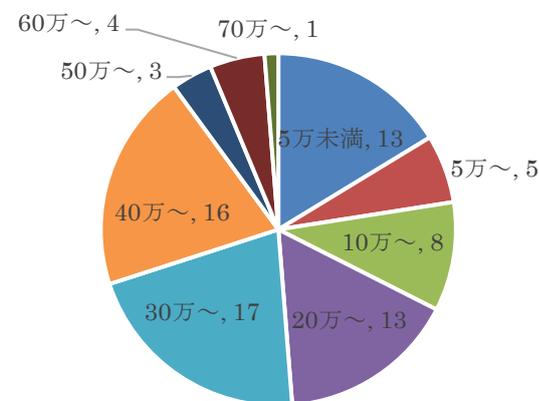
長野市高齢者活躍支援課と懇談

難聴・補聴器アンケート結果をつたえました

2月16日、長野地区社保協と5団体（年金者組合、民商、生健会、長野労連、新婦人）は、長野市高齢者活躍支援課と懇談しました。昨年11～12月に取り組んだ、難聴と補聴器にかんするアンケート（316人回答）の結果を伝え、長野市における加齢性難聴者の補聴器購入への公的補助の早期実現をもとめました。

● 購入金額 30万円、40万円が多い

アンケートでは補聴器を購入した方に、その金額を尋ねています。82人の回答がありました（下：円グラフ）。幅が広く、5万円未満から70万円まででした。多くいたのは、30万円からが17人、40万円からが16人という結果でした。



■ 5万円未満 ■ 5万円～ ■ 10万円～ ■ 20万円～ ■ 30万円～
 ■ 40万円～ ■ 50万円～ ■ 60万円～ ■ 70万円～ ■ 80万円～

● 市は 新潟市・相模原市に問合せ

長野市は、新潟市や相模原市の補聴器購入費助成について問合せし、検討しているそうです。また、2023年度に検討される第九次長野市高齢者福祉計画（計画期間：2024～2026年度）にむけた、長野市が行う住民アンケートでは、補聴器にかんする項目をもうけ、住民の要望を把握するとのことでした。

難聴と補聴器アンケート・みなさんの声

- 話し合いの事など、食い違いなどあり、本人もすごく気をつかうので、疲れるので、あまり人の輪に加わることが気分がすぐれない様子です。やはり難聴になると大変なことが良く分かります。
- 補聴器使用で会話がしやすくなった。家族にテレビが大きな音で迷惑をかけていたのが、聞こえやすくなり、なくなった。
- 補聴器とうまくなじめなく、会話のききとりが出来ないので、人の集まりにでかけなくなっている。
- 両方買ったが、片方をなくして再度買ったが、経済的に大変でした。白内障の眼内レンズのように、保険でお願いしたい。
- 補聴器はとても精密な機器で、その分高額なものです。似たようなもので音を大きくするだけのものは、安いけれど周辺の雑音まで大きくしてしまうので、よりよい聞こえにはつながらないことが多いです。そして高額な補聴器は、個々の聞こえに合わせた調整（高い音が聞きにくい、低い音が聞きにくい等）や、雑音を抑えて聞きたい音をはっきりさせるようなことも可能です。補聴器が合わない、うまく使えないということもよく聞きますが、資格を持つ方（補聴器店）による丁寧な調整が必要になります。ということで、高い物になるので補助はぜひ!と思います。